

6月6日(火) 指導教諭による授業公開 事前説明会を開催しました

中部教育事務所では授業力向上を目指して、指導教諭による授業公開を行います。ぜひ、日々の授業づくりや実践の参考にさせていただいて、さらなる向上を目指していきましょう。



指導教諭による授業公開の目的

中部教育事務所が目指す 「自ら学びに向かう力を育成する授業改善」

- ① 身に付けさせる資質・能力の明確化と「めあて」と「まとめ」の整合
- ② 個別最適な学び+協働的な学び
- ③ 習熟の時間の工夫



説明会で指導教諭の先生方に説明をしている様子です。

中部教育事務所が目指す上の3つの視点を基に
「指導教諭が授業を公開」します。

先生方の授業改善&授業力向上を図ります。



授業公開日程【予定】

変更の場合もあります。後日の案内を参考にしてください。

期 日	学校名	指導教諭名	教科等
10月30日(月)	小戸小学校	長友 晃一	理科
11月2日(木)	赤江小学校	長沼 康孝	音楽科
11月28日(火)	東大宮中学校	福良 維素子	家庭科
12月1日(金)	橋小学校	増岡 亜衣子	国語科
12月4日(月)	潮見小学校	渡部 美紀	外国語科
12月5日(火)	江平小学校	長曽我部 博	特別支援
12月7日(木)	生目小学校	尾崎 智子	社会科
12月11日(月)	本庄中学校	金本 志秀	音楽科
12月14日(木)	加納中学校	谷口 理香	数学科

対象者

- 希望する教職員 【全ての先生方が対象です】
- 1・3年目の教職員 【基幹研修として認められます】
- ※ 申込み方法等は、後日、中部教育事務所より御案内します。

「令和4年度」受講者アンケートより

- 公開授業や説明の中からすぐにでも実践したいことがたくさんあり、月曜日に学校に行くのが今から楽しみです。
- 指導教諭の先生の実践をすぐに真似したところ、子どもたちの反応が良く、スムーズに授業を行うことができました。
- 今、悩んでいることがたくさん解決できました。めあてのたて方、子ども同士で教え合う・伝え合うための手立て等、本当に多くのことを学びました。
- 自分もいつかこんな授業をして、こんな学級をつくりたいと思いました。

6月29日(木)に開催する、授業改善研修会の資料【国語・算数、数学】を配付します。ぜひ、参考にしてください。



指導教諭の先生方が授業公開に向けて熱心に打合せをしました。



問合せ先：中部教育事務所
(担当：酒匂)

TEL (0985) 44-3322 Fax (0985) 44-3330
代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

中部教育事務所は、各学校のマネジメント力を高め、チーム学校としての教育力向上を支援します。

題材： 小学校第5学年国語（光村図書）『よりよい学校生活のために』 10月予定

【本時で育成する資質・能力】 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり（思考力・判断力・表現力） 関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。

【導入段階】意見を集約する難しさを実感させ、課題意識につなげる。

よりよい学校生活のために
学校生活をよりよくするために解決すべき課題は何だろうか

たくさんの意見が出たな・・・どうまとめれば・・・

みんなの意見も大切にしたいな・・・

みんなの学校生活をよりよくする上で、課題と感じていることは何ですか。1枚の付箋紙につき、1つの課題を書けるだけどんどん書いてみましょう。時間は3分です・・・

この中から議題を1つ選び、話し合い活動をしていきます。でもどうやって、話し合うものを1つに絞ることができるでしょうか。

子どもたちの「あれ？」「おや？」という課題意識から本時のめあてにつなげる。

【めあて】 どうすればみんなの意見を1つにまとめることができるだろうか？

【展開段階】音声教材のスクリプトから最適解・納得解を導く

教科書の音声教材には、何か良いヒントが隠れていないでしょうか。確認してみましょう。

※ 音声教材のスクリプトを活用させながら個人思考の時間を確保する

①個人思考

音声教材スクリプト
【共通の資料】

「僕も5年生ができることから・・・」
「それでは、私たち5年生が取り組むことかどうかを・・・」

※タブレットを活用し、自分のペースで聞くのもOK

会話と会話のつながりを見てじっくり検討！

「5年生」でも解決できる内容という条件で考えをしばっているな・・・

共通点や相違点で整理して考えているな・・・

※ 個人思考や協働的な学びについては、決められた時間内で行うように指導する。

教科書には、どのように書いているのか確認してみましょう。みんなのと比べてみてどうでしょうか。

③子どもたちからの最適解・納得解を価値付け、本時のまとめにつなげる。

【まとめ】
みんなの意見を1つにまとめるには・・・

- 目的や条件にそって話し合う
- 共通点やことなる点をはっきりさせる

なるほど！ やっぱり！

②協働的な学び 各班の最適解・納得解

同じ考えの中から、自分たちでもできることやみんなにとって良いものにしばって考えを1つにまとめることができる。

つまり 焦点をしばる 目的に立ち戻る 相違点からまとめる

例えば

- ・5年生の私たちでもできることに+プラスになるものを+絞っていくと良い
- ・全学年にとって中心に分けていく
- ・同じ点と違う点でグループを分けて、同じ点から1つに絞っていく

【終末段階】習得したことを活用させる

※本時はこの時間にじっくり時間を設ける

レベル② 「実社会・実生活での活用をイメージした」場合～クラスでの議題決め～

では、みんなが導き出した方法で話し合いの続きをしてみましょう！

考えが整理されてきたぞ。1つにまとめていくって何か楽しいな・・・

一人一人の良さを認める 雨の日の

よし、今日はここまでです！明日は、各班から出た意見に順序立ててを行い、クラスで話す議題を1つにしていきましょう。

題材： 小学校第5学年算数（啓林館）『面積』 10月予定

[本時で育成する資質・能力] 図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り（思考力・判断力・表現力）返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと

【導入段階】 前時の学習を想起させ、本時の課題を捉えさせる

[長方形の半分] **[分けて考える]** **三角形の面積は、長方形の半分になる**

[長方形に変形] **[分けて変形]** **底辺をどこにするかで高さが決まる**

公式
 $\text{三角形の面積} = \text{底辺} \times \text{高さ} \div 2$

【単元導入前に確認する既習事項】

- 面積…単位正方形の個数(意味の理解)
- 公式…(縦)×(横)(又は(横)×(縦))

教える内容は導入で確実に伝える
 →底辺とは？高さとは？

三角形の種類は大きく分けると3つあります。直角、鋭角、鈍角の3つで明らかにすればよいですね。

[めあて] なぜ、三角形の面積の公式で、全ての三角形の面積が求められるといえるのか？

【展開段階】 個人→グループで最適解・納得解を導く

①個人思考 ※ 資料を基本とし、タブレット等を活用させながら個人思考の時間を確保する

【共通の資料：いろいろな三角形】

鈍角 鋭角 直角

タブレット 学習履歴

底辺をどこにするかによって高さが決まるから、まず底辺を決めよう！

鈍角の三角形は、辺BCが底辺と考えた場合、高さはどこだろう？

※ 個人思考や協働的な学びについては、決められた時間内で行うように指導する。

※各班に発表させる時のポイント

1班 2班 3班

基準案 ※1班の追加内容 ※1・2班の追加内容

※ 共通点、相違点、異なる考えに視点を当てた発表を徹底し、「思考」を途切れさせない工夫を！

③各班の考えを全体で協議
 (共通項+追加項+異なる考え)

全ての班のまとめを整理すると…

※ 全体で協議する場合も、共通項、追加項、異なる考えを視点として協議する

④協議を経てまとめる **[まとめ]**

例) すべての三角形の面積は、底辺を決めることで、高さが決まり、その結果長方形として考えることで、長方形の面積の半分として求めることができる。

つまり、底辺は長方形で考えるところの横の長さ、高さは長方形で考えるところの縦の長さ、それを半分にするために2で割っているということだね！

②協働的な学び 各班の最適解・納得解

例) すべての三角形の面積は、底辺と高さを決めて長方形を基本に考えることで求められる。

追加項は？ つまり 共通項は？ 例え 異なる考えは？

全ての三角形で長方形の半分と考え、公式で求めることができる！

鈍角の場合	鋭角の場合	直角の場合
<ul style="list-style-type: none"> 辺ABを底辺と考えればわかりやすい 辺BCを底辺とした場合の高さは、どのように考えればよいのか？(新たな問い) 	<ul style="list-style-type: none"> どこの辺を底辺と考えても求めることができる 辺BCを底辺とした場合、面積を求めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 直角である部分が高さに等しい 辺BCを底辺とすることで、長方形と考えて面積を求めることができる

【終末段階】 学習内容の定着と発展的な課題の提示で習熟を図る

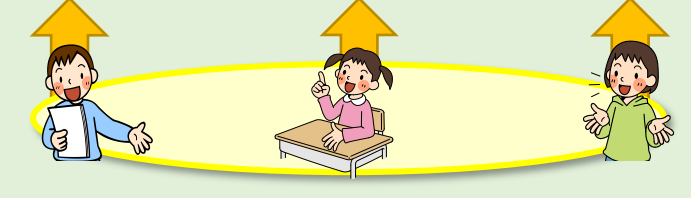
レベル② 「実社会・実生活での活用をイメージした」場合=思考力・判断力・表現力の習熟

【場面設定】

【学習問題】 点をつないで三角形を描いた時、AとBの三角形の面積は同じだと答えました。

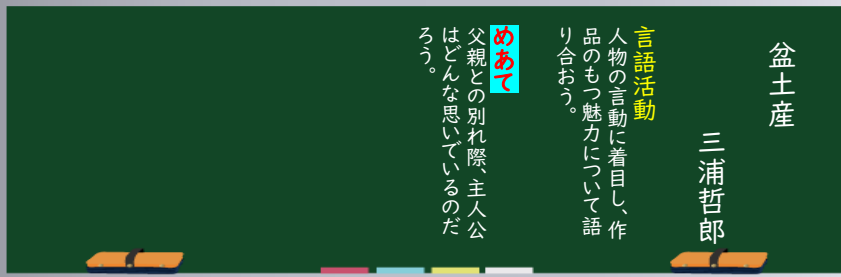
【教師の問】 面積が同じということについて、どうしてそのように考えることができたのか、みなさんはどのように説明しますか？

底辺×高さ÷2の公式で考えた場合、A Bの三角形は長方形の横が底辺と感ることができる。高さを考えると…



〔本時で育成する資質・能力〕 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。
（思考力・判断力・表現力）

【導入段階】本時の課題を捉えさせる



今日は、「主人公の思い（心情）」について読み取りを行います。父親との別れ際、**主人公はどんな思っているのか、考えましょう。**



〔めあて〕 父親との別れ際、主人公はどんな思っているのだろう。

【展開段階】個人→グループ→全体の流れで最適解・納得解を導く

①個人思考

◎ 個人の考えを記入する時間を確保する。

視点：人物の言動に着目して、読み取っていきこう。



主人公はどんな思っているか、か…
・「またえびフライを買ってきてね。」という思いな。
・「さびしい思いな。」



本文に「しゃくりあげそうになって」とあるよね。泣きそうになったんだな。さびしくて、また正月に元気で帰ってきてほしい、という思いだろうな。



家族そろって、またえびフライを食べたいという思いな。

◎ グループは1班4名をイメージ

各班で考える

②協働的な学び

最適解・納得解

「しゃくりあげそうになって」とか「うっかり、えびフライと…」というところから、「さびしい思いな」と思おうよ。



家族そろって、またえびフライを食べたいという思いだよ。



その「家族そろって」には、祖父や母親も入っていると思う。本文で、墓参りのときの主人公の「上目で見しか…」というところから…



え？ それって、どういうこと？ わかりやすく教えてよ。



私はその部分から「まだ帰らないでほしい」という思いを読み取ったよ。



なるほどね… 本文を見てみようよ。例えば、この本文を見ると…



「例えば」や「つまり」などの言葉で考えを整理します。本文に立ち返るなどしながら班でまとめていきます。

③各班の考えを全体で協議

1班

例) 父親がまた出稼ぎに行ってしまうのがさびしくて、また正月にえびフライを土産にして帰ってきてほしいという思いな。

2班

例) 家族そろって食べたえびフライが本当においしく、楽しかったから、また家族全員で正月を過ごそうねという思いな。

3班

例) 忙しいのに、一日半だけでも帰ってきてくれてありがとう。また帰ってきてね、という思いな。

みなさんのまとめを見てみると…



「また帰ってきてほしい」という言葉は必要だと思います。「家族がそろう」も…



「家族全員がそろう」という言い方を、例えば別の言い方で何かないかな…

④協議を経てまとめる

【まとめ】

家族のつながりやぬくもりを感じさせてくれた父親への感謝と正月の帰りを心から願う思いな。

【終末段階】内容の習熟を図る時間

今日の時間の振り返りを行う

今日は、主人公の思い（心情）を読み取る授業を行いました。登場人物の思い（心情）を読み取るには、どのように読んでいくことが大切ですか。お互いに説明しましょう。



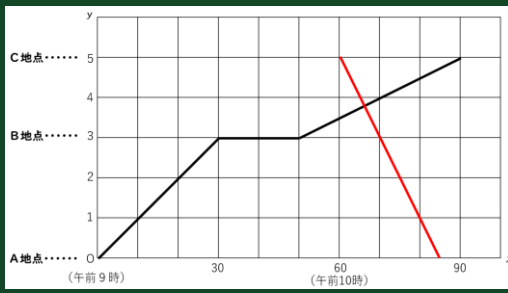
登場人物の思いを読み取るときは、叙述に基づいて読み取りながら…

題材： 中学校第2学年数学（啓林館）「一次関数『3節 一次関数の利用』」 9月予定

【本時で育成する資質・能力】 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察したり、表現したりすること
 （思考力・判断力・表現力）

【導入段階】前時の学習を想起させ、本時の課題を捉えさせる

- ① けいたさんは、午前9時に自分の家を出発して、途中にある店で買い物をしてから、おじさんの家まで行きました。けいたさんが出発してからx分後に、自分の家からykmの地点にいるとして、xとyの関係をグラフに表すと、右の図のようになりました。
- ② おじさんは、午前10時に家を出発して、けいたさんを自転車で迎えに行くことにしました。おじさんは、家を出発してから5分後に、家から1km離れた公園の前を通りました。



◎本時は、一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察したり、表現したりする活動を通して、グラフで処理することのよさを実感させることが目標である。

時間と道のりの変化を表したグラフからどのようなことが分かるだろうか？



【めあて】 時間と道のりの変化を表したグラフからどのようなことが分かるだろうか？

【展開段階】既習事項をもとに個人→グループで最適解・納得解を導く

①個人思考

※グラフを見て気付くことを、速さ、時間、道のりの視点から考えさせる。



A地点はけいたさんの家、B地点は店、C地点はおじさんの家を表しているね。

けいたさんの家からおじさんの家までは5kmあり、90分で到着していることが読み取れるよ。



グラフが平らになっているところは、店にいる時間かな？

速さとグラフの傾きが同じだね。だから、速さが速いほうが、グラフの傾きが大きくなっているね。



②協働的な学びⅡ 各班での学び合い

※本時の「協働的な学び」においては、グループ内全員が、グラフから読み取れる情報をすべて理解することができるまで高められるよう指導する（協働的な学びⅡ）

歩く速さや時間、距離についてグラフからたくさんの情報を読み取ることができる。



・速さが速いほど、グラフの傾きが大きくなっている。
 ・歩く速さがグラフの傾きになっている。

・y軸にそれぞれの地点が表されており、距離が読み取れる。x軸が時間を表しており、所要時間が読み取れる。

・グラフが平らになっているところは、1つの場所にとどまっていることを表している。

③条件を追加して思考する

おじさんがけいたさんを迎えに行きました...



けいたさんが進むようすを表すグラフと、おじさんが進むようすを表すグラフの交点は何を表しているのかな？

おじさんが出発する時間を変更すると、グラフが交わる地点が違ってくるよ。



④協議を経てまとめる

時間と道のりの変化を表したグラフでは、速さが傾きを表し、2直線の交点の座標から2人が出会う時間と位置を読み取ることができる。

だいたいの時間や位置ではなく、一次関数の式を求めて考えると、今までに学習した方法で正確な時間や場所を求めることができるね。



【家庭学習へのつなぎ】

※「教科書86頁 問4と、87頁 問5、説明しよう」を家庭学習として取り組ませ、次時に解答、解説をすることで技能の習得、向上を図る。

【次時の授業】

レベル② 「実社会・実生活での活用をイメージした」場合

※令和5年度の「全国学力・学習状況調査」の一次関数の問題に取り組ませることで、更なる定着を図る。

一次関数のグラフを応用したのとして、電車のダイヤグラムについても触れ、同じように授業実践をしてみてください。

